片桐英数塾通信

全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

アリかキリギリスか？

コッコッやりながら たまには横道にそれてみる。

随分前のことですが、ある日の中学英語の授業で、「ちょっと気分転換に楽しい文章でも読んでリラックスさせようか」と読ませたのが「アリとキリギリス」という童話でした。童話は必ずハッピーエンドになるとばかり思っていたわたしは、「みんな、知ってる話だし楽しく読めるにちがいない」、などと思い込み、内容の確認もせずにその「アリとキリギリス」の英文を子どもたちに読んでもらいました。

読み始めて十分程度経ったので、そろそろ読み終えた頃だろうと解説に移りました。物語の初めはみなさんのご存じの通りで、夏の間に冬の食糧を集める働き者のアリと、真面目に働くアリを馬鹿にしながらサボってバイオリンを弾き、歌を歌って過ごすキリギリス。見慣れた話の展開に、結末にハッピーエンドがやって来ることを疑いもせず、ドンドン解説を進めました。ところが、冬が来てキリギリスが食べ物を求めてアリを訪ねるというお決まりのシーンに来たところで、解説できなくなりしゃべれなくなってしまいました。なぜかと言いますと、その「アリとキリギリス」の結末は、「アリは怠け者には食べ物をあげない」とアリが声をそろえてキリギリスを追い返し、キリギリスは死んでしまうという結末だったからです。リラックスのはずが、教室の雰囲気はかえってどんよりと重く暗くなってしまい、授業中、一人大汗をかいたという苦い思い出になってしまいました。

後で調べたのですが、「アリとキリギリス」のお話の結末にはいろいろあるそうです。わたしが期待していたハッピーエンドのものも当然あります。ハッピーエンドの結末しか知らずに育ってきたのですからあって当然と言いますか……。ちなみに、そのハッピーエンドというものは、キリギリスが夏の間に働きもせずにサボって、しかもアリを馬鹿にしてしまったことを詫び、アリもそれを許し「食べ物をあげるからバイオリンを聞かせておくれよ」となって、ハッピーエンドで終わるというものです。これなら教室の雰囲気も悪くなることはなかったはずなのに……。

ところで、この童話は「サボらずに真面目に働くことの大切さ」を教えようとしたものだと思います。だから、働き者の「アリ」は良くて、サボって食べ物を集めなかった「キリギリス」は悪いということになります。もう、それならそれで良いじゃないか、と思うのですが、どうにもわたしの中には疑問が生じてしまいます。

「本当にアリで良いのか？」「キリギリスではダメなのか？」

このような疑問を並べてみて「何言ってんの？ 真面目に働くアリがダメなはずないじゃない？」と思う人は多いと思います。「サボって結果困ってるキリギリスで良いはずないじゃない？」と感じて当たり前だと思います。

しかし、食糧とバイオリン・歌というこの物語中の要素を並べてみて、食糧を生活、バイオリン・歌を芸術と、ちょっと強引すぎるのですが無理やり置き換えてみるとします。そうやって見てみるとちょっと見え方が変わってくる気がします。

「アリ」は将来的な生活を第一として考え、将来を安全かつ安定して過ごしたいタイプ。一方で「キリギリス」は、芸術的な感性・感動を感じたいタイプと考えることができるかもしれません。たしかに、「キリギリス」には「真面目に働くアリを馬鹿にした」「食べ物がなくなりアリに救いを求めた」という決定的にマイナスな要素があるわけですが、もし、キリギリスが「アリを馬鹿にせず」に「真面目にバイオリンを弾き歌を歌い」、その演奏や歌唱のすばらしさのおかげでほかの昆虫からたくさんの食糧を手に入れることができていたとすると、「キリギリス」は素晴らしいということになるのではないでしょうか。

「アリ」は真面目に食糧を集めている時「キリギリス」のバイオリンと歌が自然と聞こえてきます。「キリギリス」のバイオリンと歌が上手だったとして話を進めますが、音楽にはとろけるような暖かさ、安らぎがあり、自分でもちょっとやってみたくなるものだという認識がわたしにはあります。「アリ」はキリギリスの上手な音楽に魅了され、「キリギリスさん。ちょっとバイオリンを教えておくれよ。一緒に歌ってもいいかい？」と、仕事熱心は結構なことですが、仕事のちょっとした合間にでも「キリギリス」と一緒に芸術に触れることができたとすると、「アリ」ももっと良かったかもしれません。ただ、「キリギリス」が露骨にアリを馬鹿にしなければということになりますが。

ちょっと現実世界に目を移してみます。

今、時代は過渡期です。変化することは分かっていて、しかもどう変化するかが読み切れない時代です。こんな時はどうしても将来的な安定を望むのが人の本能だろうと思います。将来的な安定ということになると、今はどうやら「AI」です。

「AI」が時代のキーワードなのは間違いないと思うのですが、わたしはその「AI」というものがはっきりと分かりません。ですので想像で感じるままを書くしかないのですが、今、ある広告会社のデザイナーの言葉を興味深く思い出しています。

「学生時代、最新のデザインを学び、最新のソフトウェアの使い方も学んだ。しかし、その学んだ最新のものは卒業後五年もすると技術の進化とともに使い物にならなくなった。今後、デザイナーとして生きていくためには最新を学び続けることと、自分のセンスだけが頼りになってくる」。

このデザイナーの言葉を思い出し、これは「AI」にも当てはまる気がしています。真面目さだけでは固すぎて時代の変化に振り切られるだろうし、感性だけで生きようとしても、真面目にコツコツとやれないと必ず伸びの止まる時が来る。真面目にコツコツやりながら、ちょっと横道にそれながらセンスを磨いておくことが必要な気がします。

「アリ」のようにコツコツ真面目に頑張りながら、興味が起きると「キリギリス」のようにバイオリンを奏でたり歌を歌ってみる。もっと良い仕事ができないかと考えたり、もっと上手に弾けないか、歌えないか、人に伝えることはできないかと考えたりしながら。そんなことをやっているうちにセンスが磨かれるかもしれないなと感じたところで腑に落ちて、今月号はここまでに致します。

天王山の夏どう過ごす？ 塾を200%活用しよう！

『受験勉強の出遅れを挽回したい。』『志望校を妥協したくない！』『各教科万全にしておきたいけれど何をやっていいか迷っている』という皆さん、夏休みをぜひ充実させましょう！ポイントを絞り込んだ映像授業なら短期間での速習受講も可能！映像授業＋問題演習で効率良くレベルアップしていこう。

受講相談、進路相談等随時受付中です。坂本教室までいつでもお気軽に！

～映像授業を受講していた先輩たちの感想～

アットウィルは時間内なら何教科でも見られるし、分野も沢山あり、選べるので自分の苦手なところを中心に見ることができるので良かった。

授業の予習として数学の映像授業を見ました。授業でも分からないところやだいぶ前に習って忘れているところ等を、公式から導くところから復習できたのもよかったです。あと地理は映像授業がかなり分かりやすかったので、やってみるといいと思います。

@will は、授業の予習、復習だけでなく、受験対策のコースもあり、充実していました。特に日本史の講座は、実際に入試にも出題されていて本当に役に立ちました。利用して良かったです。

映像でセンター試験の解き方のコツをつかむことができました。とてもおすすめです。とてもおもしろい先生で楽しみながら受講できました。また大学別の対策授業は本当に点数が伸びると思う。本番で役立ちました。

片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の8月末までのお休みは、7月28日(日)～31日(水)、8月4日(日)11日(日)、15日(木)、18日(日)、25日(日)です。
休日は自習開放もしておりませんのでご注意ください。

塾スタッフ募集中！

また、8月12日(月)は、坂本教室、天神教室ともに利用時間は16:30までとなり、キッズコースはお休み、中学部・高校部は下記のように時間が変更になりますのでご注意ください。

8月12日(月) 高2英語は前半10:00～11:30、後半13:00～14:30
高1数学は13:00～15:00
中2英語は14:00～15:00、中2数学は15:00～16:00
キッズコースはお休み

なお、8月13日(火)、14日(水)は、@willシステムサーバー移転のため映像授業は利用できません。自習室の利用は可能です。ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

塾生の皆さんＬＩＮＥ登録をお願いします。
HPｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com

塾生の皆さんで LINE 登録がまだの方は、こちらのＱＲコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などＬＩＮＥでいつでも受付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

Copyright © 片桐英数塾. All Rights Reserved.